

【ロシア】裁判制度改革

海外立法情報課 小泉 悠

*プーチン政権は非効率で不透明な裁判制度の改革を政権の重要課題の一つとして取り組んできた。その一環として、2013年に最高裁判所と最高仲裁裁判所の合併に関する法案が議会に提出され、2014年2月に承認された。これによって2014年8月以降、ロシアの裁判所制度は大きく改革されることになるが、反対意見も存在する。

1 ロシアにおける裁判制度の概要

ソ連においては権力分立の原則が認められていなかったが、ソ連崩壊後の1993年に制定された現行憲法では、立法、行政及び司法の三権分立の概念が導入された。裁判制度を具体的に規定しているのは1996年12月31日連邦憲法第1号「ロシア連邦の裁判制度について」である（注1）。同法の規定によると、ロシア連邦の裁判所は、憲法裁判所、一般司法裁判所及び仲裁裁判所の3種類に分類される。

憲法裁判所は違憲審査を担当する裁判所であり、下級裁判所を持たない。

一方、一般司法裁判所は民事、刑事、行政に関する事件を扱う。最高審は最高裁判所であり、下級裁判所として、連邦構成主体（州、共和国、連邦市などロシア連邦を構成する各主体）裁判所、地区裁判所が設けられている。また、簡易裁判の機能を担う治安判事（мировой суд）が設けられており、軽微な民事、刑事、行政事件を扱う。さらに一般司法裁判所内には、軍人の民事、刑事、行政事件を専門的に扱う軍事裁判所が設置されているが、最高審は他の一般司法裁判と同様に最高裁判所が担当する。

仲裁裁判所は経済に関連する民事、刑事、行政事件を扱う裁判所であり、最高審は最高仲裁裁判所である。下級裁判所としては、裁判所管区ごとの管区仲裁裁判所及び高等仲裁裁判所があり（いずれも中間審級）、その下に連邦構成主体仲裁裁判所が設けられている。

	憲法裁判所	一般司法裁判所		仲裁裁判所
管轄	連邦法を含む全ての法規 範的アクトの違憲審査	民事、刑事、行政事件		経済分野の民事、行政事 件
最高審	憲法裁判所	最高裁判所		最高仲裁裁判所
中間審	-	連邦構成主体一般司法 裁判所	軍管区（艦隊）裁判所	管区仲裁裁判所又は高 等仲裁裁判所
下級審	-	地区裁判所	駐屯地裁判所	連邦構成主体仲裁裁判 所
簡易裁判	-	治安判事	-	-

図-1 ロシアにおける裁判所制度（現行）

出典：法律データベース「コンサルタント・プラス」より筆者作成
<http://cons-plus.ru/uristu/sud_system/>

2 裁判制度改革に向けた動き

前述のように、ロシアの裁判制度はソ連崩壊後に整備されたものであり、当初は多くの問題を抱えていた。特に裁判官の収入が低いために賄賂が横行したり、裁判官志望者が少

ないために裁判期間が長引くなど、不透明性と非効率性が大きな問題とされていた。このような状況は国民の利便性ばかりでなく、外国からの投資を阻害する要因としても問題視されるようになった。

これに対して 2000 年に就任したプーチン大統領は、2001 年と 2002 年の議会向け教書演説において 2 年連続で裁判制度改革の重要性を指摘し、本格的な取組みを開始した。具体的には、連邦特定目的プログラム「2006 年までの裁判制度発展計画」に基づく裁判制度改革によって約 449 億ルーブル(2014 年のレートで約 1350 億円)の特別予算が計上され、裁判官の給与引上げ、人員追加、裁判所建物の再建、IT 化などの改革が進められた。その後もロシア政府は継続的に裁判制度の改善に取り組んでおり、2013 年からは「2020 年までの裁判制度発展計画」が開始されている。同計画の予算総額は 905 億ルーブル(約 2700 億円)であり、特に IT 技術の更なる導入に重点が置かれている。

さらにプーチン大統領は 2013 年、最高仲裁裁判所と最高裁判所を合併する法案を議会に提出し、2014 年 2 月 5 日連邦憲法第 2 号「ロシア連邦最高裁判所及びロシア連邦検察庁について」(注 2)として制定された。同法によってロシア連邦憲法から最高仲裁裁判所に関する全ての記述が削除され、2014 年 8 月以降、最高仲裁裁判所は最高裁判所と統合されることとなった。統合後の最高裁判所の裁判官は 170 名となり、現在の 215 名(最高裁判所と最高仲裁裁判所の裁判官の合計。各年度の予算によって若干変動する)に比べて 45 名減少する。また、2014 年 2 月 5 日連邦憲法第 3 号「ロシア連邦最高裁判所について」(注 3)により、統合後の最高裁判所の地位や権限に関する詳細が規定されたほか、2014 年 2 月 5 日連邦憲法第 4 号(注 4)により、最高裁判所が現在のモスクワからサンクトペテルブルグへと移転することとなった。ほかにも司法制度の細則を調整するため、複数の法改正が行われる。

これに対して、ロシアの弁護士組合は強く反発している。最高仲裁裁判所はロシアで最も透明性が高く、効率的な裁判所であり、より不透明で非効率な最高裁判所と合併するのは大きな損失であるというのがその主な理由である。

その後、2014 年 6 月には憲法裁判所の権限を強化する法改正が施行された。この改正により、ロシア連邦の特定の法規の規定又はその適用に関して、人権及び人の自由の保護を行う国際機関がロシア連邦憲法に対する違憲審査が必要であると決定した場合には、当該の法律の違憲審査をロシア連邦憲法裁判所が実施することなどが盛り込まれた。

注(インターネット情報は 2014 年 6 月 18 日現在である。)

- (1) Федеральный конституционный закон от 31.12.1996 N 1-ФКЗ. О судебной системе Российской Федерации. <http://www.consultant.ru/document/cons_doc_LAW_158423/>
- (2) Федеральный конституционный закон от 05.02.2014 N 2-ФКЗ. О Верховном Суде Российской Федерации и прокуратуре Российской Федерации. <http://www.consultant.ru/document/cons_doc_LAW_158640/>
- (3) Федеральный конституционный закон от 05.02.2014 N 3-ФКЗ. О Верховном Суде Российской Федерации. <http://www.consultant.ru/document/cons_doc_LAW_158641/>
- (4) Федеральный конституционный закон от 05.02.2014 N 4-ФКЗ. О внесении изменений в Федеральный конституционный закон. О судебной системе Российской Федерации. <http://www.consultant.ru/law/doc/sud_ref/>